



我らが消防団、県大会出場

7月26日、第77回新潟県消防大会ポンプ操法競技会が開催されます。南魚沼市消防団、湯沢町消防団を代表して、湯沢町消防団第3分団第5部（松川・土樽）が出場します。3分団5部は自ら手をあげ、選ばれて代表となりました。自分たちがこれまで取り組んできた訓練の成果、自信があつてのチャレンジだと思っています。

7月16日夜7時から出場激励会が行われました。地元町内会長・消防団団長と幹部・消防署長・議会議長・3分団同僚を前に、半沢部長がこれまでの協力への感謝と県大会出場への思いを決意表明しました。とても力強く誇らしく思えました。その後行われた操法は、自信と規律にあふれた素晴らしい出来でした。

仕事帰りに1か月以上訓練に励む選手とサポートする団員に敬意と感謝を申し上げます。頑張れ我らが消防団。そしてありがとう。

6月 町長活動状況											
1日	朝礼	2日	補正予算町長査定	3日	湯沢町観光まちづくり機構総会	5日	部長会議	14日	湯沢町消防団活性化事業	17日	非核・平和行進出発式
18日	津南町役場訪問	20日	自由民主党新潟県第五選挙区支部定期大会	22日	町長喫茶室／ふれあい懇談会(旧湯沢町公民館浅貝分館)	23日	大規模災害を想定した合同防災訓練	25日	ふれあい懇談会(二居集会所)	26日	湯沢町農業再生協議会第1回総会／郵便局お客さま感謝の会
27日	第59回新潟県町村職員親善野球大会閉会式	29日	新潟県特別豪雪地帯市町村協議会／新潟県農業信用基金協会通常総会／雪国魚沼連絡協議会	30日	新潟県スキー観光産業第1回理事会／ふれあい懇談会(農山村開発総合センター)						

ゆざわ情報 かわらばん



ウェルカムパーティにて記念撮影



フェアウェルパーティでマグナの学生を代表し、デックスさんがスピーチ



マグナの皆さんからホストファミリーへ日本語で手紙をプレゼント

日本文化と湯沢町の暮らしを体験

米国の姉妹都市マグナから学生が訪れました

7月6日（月）から16日（木）までの11日間、米国ユタ州の姉妹都市マグナから学生8名、引率2名の計10名が町に滞在しました。

滞在中は日本語学習に加え、陶芸や書道、浴衣の着付けなどの日本文化を体験したほか、県内の工場や博物館を見学しました。さらに、湯沢学園や南魚沼市の国際情報高校を訪問し、授業への参加を通じて、同年代の生徒の皆さんとの交流を深めました。

15日（水）にはフェアウェルパーティーが開催されました。パーティーでは、マグナの学生を代表し、日本が大好きで日本語を勉強してきたデックスさん（18）がスピーチを行いました。デックスさんは、温かく受け入れてくれたホストファミリーをはじめ、湯沢の人たちへの感謝の言葉に加え、ファミリーと一緒に家でたこ焼き作りをしたことや、そつめん流しを体験したことなどの思い出を、流暢な日本語で話してくれました。また、マグナの皆さんからそれぞれのホストファミリーへ、感謝の気持ちを込めて手紙も贈られました。勉強した日本語で一生懸命に書かれた手紙に、ホストファミリーの皆さんの表情は笑顔にあふれていました。